

## 犯罪や非行を防止し 立ち直りを支える 地域のチカラに



▲保護司会と更生保護女性会の皆さん

7月1日、「社会を明るくする運動」を推進する、猿島地区保護司会坂東支部と坂東市更生保護女性会のみなさんが市役所を訪れ、支部長の海老原宣子さんが山下副市長に、谷垣法務大臣からのメッセージを手渡しました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪を無くして社会を明るくするために、犯罪の防止と犯罪を犯してしまった人の矯正や更生保護について理解を深めてもらい、安全で安心な地域社会を築こうとする運動です。

## 田んぼの生き物調査

7月14日、西総土地改良区で、長須小学校の4年生43人が田んぼや水路の生き物調査を行いました。

調査活動をとおり、児童たちに地域の自然や環境の素晴らしさを再認識させ、郷土を愛する心を育むことを目的に、長須西部地域資源保全協議会やPTAなどの協力により毎年開催されています。

茨城県自然博物館学芸員の土屋先生から指導を受けた後調査を開始、捕獲網や仕掛け網で魚を捕獲すると大きな歓声が上がっていました。



▲生き物調査をする児童たち

## 薬物乱用は 「ダメ。ゼッタイ。」



▲寸劇で薬物乱用防止を訴えました

7月16日、猿島中学校で、猿島ライオンズクラブ(木村隆幸会長、会員51人)による青少年薬物乱用防止教室が、夏休みを目前にした2年生を対象に開催されました。

薬物による身体的な悪影響や危険ドラッグの危険性についてビデオや寸劇などで説明を受け、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、「ゼッタイに手を出さない」という自覚と断ることが大切」との訴えに、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

## 市民協働のつどい わくわくフェスタ開催

6月22日、さしま郷土館ミューズ視聴覚ホールで、市民協働のつどい「わくわくフェスタ」が開催され、多くの市民のみなさんが参加しました。

わくわくフェスタは、市民団体のみなさんによる、よりよいまちづくりのための取り組みや活動状況、問題点、改善点など、エピソードを交えながら発表が行われました。これからも、このような機会を設け、各種市民団体のみなさんの連携を図るとともに、市民のみなさんとの協働の輪を広げていきます。



▲発表後意見交換が行われました